2026 DUNLOP YAMAHA Enjoy & FLR CUP
FLR CUP
特 別 規 則 書

第１章　大会開催に関する事項

1・イベントの開催場所・日程

Rd.1	つま恋カートコース	3月8日	スプリントレース＆３時間２０分耐久 Enjoy CUP Rd.1
Rd.2	つま恋カートコース	5月3日	スプリントレース＆３時間２０分耐久 Enjoy CUP Rd.2
Rd.3	つま恋カートコース	7月19日	スプリントレース＆３時間２０分耐久 Enjoy CUP Rd.3
Rd.4	つま恋カートコース	10月4日	スプリントレース＆３時間２０分耐久 Enjoy CUP Rd.4
Rd.5	つま恋カートコース	11月22日	２スプリントレース＆４時間耐久

※諸般の事情により、変更される場合があります。

2・大会コンセプト

1）スポーツマンシップに準じ、順位にこだわらず完走目標で全チーム全参加者が楽しめるイベントを目指します。
2）ペナルティがなくマナーの良いモータースポーツイベントを目指します。
3）初めて参加するチームに対しても、参加者の協力で暖かく迎え入れ全員で楽しめるイベントを目指します。
4）本大会規則書に順じルールとマナーを厳守し、他を中傷せず、安全で公平なモータースポーツを楽しめるイベントを目指します。

3・大会の延期、中止及び変更に関する事項

主催者は、大会の一部あるいは全部を延期、中止することができます。イベントすべてが取りやめになった場合エントリー費は大会事務手数料を引いて返還されます。延期の場合エントリーフィーはそのまま引き継がれますが、返還希望の場合は手数料を引いて返還されます。エントラント及びドライバーはこれによって生じる損失について主催者に抗議する権利を保有しません。
なお、主催者はイベントの内容及び規則をシーズン途中であっても変更する権限を保有します。これに対する抗議は認められません。

第２章　大会参加に関する事項

1・エントリー、各種費用

1）エントリー費用　1チーム　¥44,000-（Rd.5　¥55,000）
2）大会指定ディストリビューションタイヤ ダンロップ SL98　¥33,000
3）エンジンレンタル　¥6,600-(RACE）、¥11,000-(土日2Days)
4）シャーシレンタル　¥11,000-
4）Enjoy Cup　エントリー：¥11,000-、レンタルポンダー：¥1,000-

2・エントリー受付け及び受理

1）エントリー受付

開催日の1ヶ月前からの受付開始となります。オフィシャルホームページのエントリーフォームより、エントリーして下さい。エントリー費は指定期限までに銀行振込及び、カートコースにてお支払いください。遅延エントリーには、事務手数料2,000円がかかります。ご了承ください。ゼッケンナンバーは前年度参加者を優先しますが、事前に希望を受け付けています。エントリー開始前までは、カートコース受付、E-Mail：f_lap@mac.com、FAX:053-474-0077、公式グループラインで受け付けます。

2）参加資格

中学生以上（当該年齢）で、健康でカートをコントロールする技術を有し、走行ルール、マナーを熟知し、安全に楽しくイベントができるドライバーであること。安全に走行できる装備で参加できる者。中学生のドライバーはチーム全体の50%以下とします。未成年者は親権者の同意が必要です。参加ドライバーは、各種カートライセンス必備とします。SL・JAF（４輪を含む）・つま恋/石野/レインボー等コースライセンス。レース日に有効なFLPスポーツ安全保険の加入。

1チームの参加人数は2名～6名（Rd.5は3名～6名）とします。

3）ドライバーの登録・変更

エントリーネームは、8文字以下で名前を確認できる場合のみ可とします。

原則エントリー時までに確定。当日受付までは変更が可能ですが当日変更は有料とします（事務費@3,300円）

4）FLPスポーツ安全保険

ドライバー全員はレース時に有効なFORMATION LAP PROJECT(FLP)スポーツ安全保険の加入が必備となります。

レースにドライバーとして参加せずピットクルーとして登録する場合も、FLPスポーツ安全保険が必備となります。

ピットクルーはレース中のピット作業、カートの整備、給油作業の補助等ができるものとする。

レース前日までに事務局、カートコース受付にてお手続きを済ませてください。

5）エントリーの完了

チーム編成登録書の提出、エントリー費のお支払いが確認された時点でエントリー受付完了とします。

一旦受理されたエントリー費は、大会中止の場合以外は返還されません。

6）提出書類について

エントリーに必要な書類は当日受付までに提出願います。

誓約書にチーム全員の署名・車検自己申告書・車載カメラ承諾書、無線装置承諾書。

7）主催者の権限

主催者は理由を示さずエントリーを拒否することができ、かつその行為をもって最終決定とします。

この場合、エントリー費は全額返還されます。また、拒否通知は前日までに通知されます。

第３章　出場車両に関する事項

1）エンジン規定、その他について

使用エンジンはYAMAHA MZ200-RK(7DH),MZ200-RKC(7D9)のみとし、エンジン本体は完全ノーマルとする。

使用ガソリン：一般市販ガソリンに限る。

※変更が許される項目

ジェット：1HX-14231-18,1HX-1423E-36-A0,1HX-1423A-69,1HX-1423E-37-A0,1HX-E4143-19-A0

マフラー：溶接補強、補強ステーの追加。プラグ・オイル・エンジンマウント（プレート）

エアシュラウド：7CN-E2651-01、シールプラグキャップ：7CP-H2372-00の追加。

ピストン：7ED-E1631-10-A0,7DH-E1635-00,7DH-E1636-00

ピストンリング：7DH-E16100-00,7DH-E1610-10,7DH-E1610-20

エアークリーナー：純正マニホールド(7DH-E440P-SP)+ 純正パワークリーナー(7DH-E4401-SP）or FLP品へ変更可

エアークリーナー変更後はブローバイの大気開放を禁止。キャッチタンク必備。

サービスマニュアルに定められる、各種調整。O/Hは、純正パーツを無加工で使用するものとする。

バルブクリアランスは吸気側:0.09~0.3、排気側:0.09~0.3、また、この値はエンジンを完全に常温に戻した時の値である。

アクセルレバー全開調整でのストッパー曲げ加工。アクセルリンケージの曲がり防止加工。

O/Hを行った場合は、エンジンO/H申告書の提出が必要となります。

2）車両規定、その他について

フレームは安全に走行できる、車両であることとし、自由とする。

前・上・後部をカバーした、金属ステーで取り付けられたチェーンカバーを必備とする。

カウル類は前後左右ともに規定の取り付け方法で取り付けられたものとし、テープ等で取り付け部分を補強したりする行為は禁止します。リアは大型金属バンパーでも可とする。フロントブレーキの搭載は自由とする。

バックミラーの搭載は自由。その場合はフロントゼッケンパネルステー等、金属部への取付けとする。
予備チェーンの搭載は不可とします。
ゼッケンは前後左右必備とし、わかりやすい黒文字書体とし、ベース色は黄色とする。
希望ゼッケンは、前年参加車両を優先し先着エントリー順とする。
Fドライブ、Rドライブは自由（チェーン２１９に限る）とする。

3）タイヤ、ホイール規定について

指定タイヤはダンロップSL98オールウエザータイヤとし、主催者から販売配布されるタイヤのみとします。中古タイヤの場合は前回までに使用しFLP印の押されたものの使用は可能。交流戦では石野刻印中古も可とする。安全なレイン走行可能な前後溝のある（2mm以上）タイヤが１セット以上必要となります。測定方法はタイヤ空気圧を1.0入れた状態で、進行方向と90°に指定タイヤ溝ゲージをセットし、中央溝の深さを測定いたします。（測定交差90％）レース終了後トレッド剥離していた場合は車検失格になります。公式練習を含めレースに使用できるタイヤは、車検で封印された2セットまでとする。
ホイールサイズはフロント、リア共に自由。材質も自由とする。

4）車両検査について

車両は受付時の車検自己申告書の提出をもって自己管理とします。ゴール後の車検があります。
朝の車検では各ドライバーの重量のみを計測し決勝ゴール後の規定車両乾燥重量を決定します。各ドライバーは車検員の指示に従い、各自レース走行状態でチームごとの重量計測を受けて下さい。(ポケットから携帯等の私物を出すこと)
使用タイヤは裏表にゼッケン番号を記入し車検での封印を受けて下さい。
技術委員が行う条項の検査に応じない場合は失格となります。

5）重量規定について

規定最低重量は、ドライバーと車両の合計で150kgとする。TT、スプリント後はドライバーと車両の合計で150kgを計測します。レース後の重量は朝車検で定められた車両重量とし、レース中これを下回ることはできません。決勝レース後の計測方法は車両のみとしますが、燃料を抜いての再検査を行う事があります。決勝スタート後のウエイト調整は禁止です。
女性ドライバーは+10Kgで計測とする。（但し、現役カートドライバーは除き、緩和規定は1チーム1名までとする。）
ウエイト搭載方法はM6以上のボルト、2本以上での固定とする。

6）車両無線の使用について

日本電波法に合致する無線装置で、１対１の通話のみに対応の機種の利用を許可します。
使用できる無線装置は技適マーク付きの無線装置に限り、車検時に申告書の提出が必要となります。
性能証明等の必要書類の提出はチーム側で準備するものとし、車検にて登録、事前許可性とする。

7）車載カメラについて

個人での記録のため等、車載カメラの使用を許可しますが、レース結果の抗議等の資料そしての使用は認めません。

8）服装、装備について

服装は上下がつながっているつなぎ（長袖、長裾）以上を原則とします。グローブを着用（軍手は不可）
スーツの上から防寒具の装着は不可。フード等のある衣類を着込む場合はスーツから出ないようにしてください。
カート用レーシングスーツ着用を強く推奨します。ヘルメットはフルフェイスを着用。（オートバイ用も可、ジェット型は不可）リブプロテクター、及びネックガードの装着を強く推奨します。

第４章　レース進行に関する事項

1・ドライバーズブリーフィング

ドライバーズブリーフィングは全員参加とする。

2・フラッグ

黄旗：危険信号。速度を落とせ。追い越し禁止。

１本振動：トラック脇あるいはトラック上の一部に危険箇所がある。
２本振動：進路変更あるいは停止準備。全面的または部分的にトラックが閉鎖されている。

緑旗：トラックが走行可能である。

NZ解除、再スタート。

青旗：自分を追い越そうとしているより速い車両に進路を譲れ

チェッカーフラッグ：レース終了

黒白斜め旗：スポーツ精神に反する行為をしたドライバーにに対する警告

※番号と同時に出された場合は、ピットスルーペナルティ

オレンジボール：車両に機械的欠陥が認められるため、表示された数字の車両はピットインを命ぜられる。

赤旗：大きなアクシデント等の発生により競技の継続が困難な場合。

3・公式練習及びタイムトライアル

全てのドライバーは、公式練習の時間内に走行する義務があります。公式練習の残り5分になるとピットロード入り口が閉鎖され、同時にタイム計測が開始されチェッカーまでの間に記録されたタイムによりスプリントレースのスターティンググリッドを決定します。ゴール後車検にて規定重量（１５０Kg）の計測があります。T/Tでの重量失格の場合は、タイム抹消により予選最後尾スタートとする。複数台の違反車が出た場合は、不足重量の少ない順にてスプリントレースのスタート順位を決定する。

4・スプリント

T/T順位により整列し13周のスプリントレースを開催します。ゴール後車検にて規定重量の計測があります。レースでの重量失格の場合は順位抹消により決勝最後尾スタートとする。重量失格車が複数出た場合は、不足重量の少ない順で決勝グリッドを決定する。尚、スプリントレース出場ドライバー名を、朝の車検時に申告するものとする。T/Tドライバーと同一である必要はありません。Rd.5のスプリントは２戦ともTT順でスタートしポイント対象ですが、同じドライバーは走れません。車検時にエントリーするものとする。

5・レコノサンス

決勝スタート30分前になるとピット出口がオープンされます。15分後のゲートクローズまでに各車両は自走にてスターティンググドに着きます。ゲートクローズまではコースの走行が可能です。走行が必要な車両はグリッドを回避しピットロードを迂回してコースを走行して下さい。グリッド上での工具の持ち込み、作業は禁止とします。ピットクローズ時間までは、ピット作業も可能です。ゲートクローズ違反はペナルティ。スタートに間に合わなかった車両はピットレーンスタートとする。

6・決勝

決勝スターティンググリッドはポイント獲得した上位車両はリバースグリッドとなります。Rd.5は２戦の合計ポイントのリバースで決勝をスタートするものとする。スタート時間2分前にフォーメーションラップが開始され、グリッドに再整列後シグナル点灯。その後シグナル消灯にて決勝レースがスタートします。フォーメーションラップのやり直し等がありスタート時間が5分以上遅れない限りレーススタート時間はシグナル消灯時間ではなく、決勝スタート予定時間でカウントをスタートします。この場合の時計はオフィシャルの時計を正しい時間とします。順位はレース終了時間後コントロールラインで最多周回数の車両にチェッカーが振られ、チェッカーを受けた完走車はその周回数で順位が決定いたします。完走者とはトップがコントロールラインを通過し3分以内に自力で同ラインを通過しチェッカーを受けた者とします。チェッカーを受けていない車両はチェッカーを受けた車両の後に順位を確定する。規定の時間を終了する以前に誤ってチェッカー旗が表示された場合は、その時点を以ってイベント終了とします。また遅れて(時間又は周回数)チェッカー旗が表示された場合は、チェッカー旗とは無関係に、イベントは規定の周回数で終了したものとして順位が決定されます。コントロールライン通過コントロールライン通過後チェッカーを受けたドライバーは徐々にスピードを落とし(追越禁止)コースを走行し、スターティンググリットに整列。トップ車両のチェッカーラップに続き、ピットレーンを逆走で侵入してください。

7・ドライバー交代

各チーム指定された時間内に１回以上、合計最低9回以上指定場所でドライバーチェンジをしてください。走行スティントは１０回。その際ピットロードは最徐行で指定エリアに進み交代してください。前車が交代エリアに停止している場合は停止線にて待機してお待ちください。各登録ドライバーの出走回数は、最多回出走ドライバーと最小回数出走ドライバーの回数の差は①回以内とし、各自最低連続走行時間15分1回ををクリアするものとします。各ドライバーの走行時間は累積計算され、平均走行時間に対する達成率は最低70%以上最高150%以下を守る事とする。※４名チームの場合は、200分÷４の50分が各ドライバーの累積規定走行時間となり、最

低が50分の70％で35分以上、最高が50分の150％で75分以下となる。但し、４名以上のチームでは、この制限を１人緩和する。
女性ドライバー（現役ドライバーを除く）は、走行回数をチーム内で最多回数とすることで走行達成率、 最低連続走行時間を免除できるものとするが、最高、最低達成率の１名の緩和は無しとする。
ドライバー交代申告は記名制として、走行終了ドライバーが交代直後に申告を行う必要があります。
３時間２０分耐久レースの交代指定時間は、スタートから
|-30-|-20-|-20-|-20-|-20-|-20-|-20-|-20-|-30-|　合計３時間２０分、９スティント（９回のドライバー交代義務）になります。
　①　②　③　④　⑤　⑥　⑦　⑧　⑨
第１ステイントのみスタート後１５分間は規定のドライバー交代は禁止とします。ピットロードの走行は最徐行、シケイン通過後の加速はペナルティーの対象となります。ピットイン・ピットアウト時は必ず片手を高く挙げて合図をしてください。交代時エンジンはかけたままで結構ですが、交代時の作業はチェーンスプレーの使用のみ可とし、ヘルメット、リブガード等の貸し借りは禁止です。
ドライバー交代エリアへは交代するドライバー2名と補助員（登録ドライバー及び登録ピットクルーのみ）の3名までの入場とする。

8・給油作業

最低１回の給油ストップを義務付けします。給油によるピットストップは規定のドライバー交代と同時に行うことができます。給油の場合はドライバー交代エリアにてに給油を係員に申告し、スタンドに載せ給油エリアに移動してください。給油後、指定場所に戻りタイマーの合図とともにスタートしてください。給油量は自由とし、最低３分間のピットストップが義務付けられます。給油には十分な時間がありますので、焦ることなく安全に給油作業をしてください。2回以上、給油によるピットインをする場合も給油は指定エリアのみの作業となり、最低３分間のピットストップが義務付けられます。燃料の持込みはすべて消防法により認められた金属製の携行缶を使用して下さい。給油と同時に他の作業を行うことはできません（チェーンスプレーのみ可）。
給油エリアへは交代するドライバー2名と補助員（登録ドライバー及び登録ピットクルーのみ）の3名までの入場とする。

9・赤旗

コースの急激な状況変化 (雨や砂利の散乱)や、トラブル車両の停止等によりレースの続行が危険となった場合、ピット出口を閉鎖し赤旗で走行を中断する場合があります。全車は直ちに減速しトラブル車両を避けピットに戻るものとする。マシンの整備は給油を含め自由（ウエイト調整は不可）。再スタートの進行は、オフィシャルの指示に従ってください。

10・ニュートリゼーション

コースの急激な状況変化 (雨や砂利の散乱)やトラブル車両の停止等によりにレースの続行が危険となった場合、ニュートラリゼーション(以下ＮＺ)となる場合があります。ＮＺ導入決定の原因車両は自力復帰禁止とします。各ポストで黄旗が振られメインポストでＳＬＯＷボードが提示されると、ＮＺ発動となりピット入り口が赤シグナルによりクローズされます。フルコースコーションとなり先頭車両のNo.が表示され、先頭車両は徐行、後ろの車両は徐行ぜず速やかに縦一列隊列を整えてください。隊列完成後はスロー走行となります。No.を表示された先頭車両は、3周以内にスロー走行で縦一列の隊列を整える義務があります。トラブル車両の撤去が終わると、黄旗は振動から静止となり次周でレース再開となります。コントロールラインで緑旗の振動の合図でレースが再開。レースの再開はコントロールラインからとなりますので、コントロールラインを通過するまでは１列整列を崩さず追い越し禁止となります。コントロールライン手前で並びかける事や横に出る行為もペナルティの対象となります。ＮＺ発動中、ドラーバー交代の規定時間をまたぐ場合は規定スティント時間は延長されます。ピットロード青シグナル後、翌周までにピットストップしドライバー交代を済ませて下さい。延長された次のスティントの終了時刻は変わりませんので、ドライバーの交替時刻に注意して下さい。また、給油が必要でピットインする場合は、ピットインし規定の給油方法に従って給油して下さい。この場合はペナルティの対象となります。
またこのタイミング等の判断は担当オフィシャルの決定により、その件についての抗議は受け付けません。

11・ウエイトハンディ制

決勝結果に基づき次戦以降ウェイトハンディ制を導入いたします。15ポイント以上の決勝ポイントを獲得したチームに対し、決勝獲得ポイント×100ｇのウエイトハンディを課します。次戦も同様のウェイトハンディ制を導入し累積したウエイトハンディで走行するものとしますが、ノーポイントに終わった場合は次戦でのウエイトハンディは消滅します。石野交流戦の成績には導入しません。
ウエイトハンディのMAXは７Kgとする。最終戦につきましては、全車ウエイトハンディなしとします。

12・車検

ゴール、計量後、全車車両保管となります。燃料を抜いての再計量を行いますが、これを省略する場合もあります。

第５章　ペナルティカタログ

1・ドライバーズブリーフィング

チーム内で参加しない者がいた場合。T/T１グリッド降格。

2・フラッグ

黄旗無視(追い越し禁止）・ピットスルーペナルティ
黄旗無視(順位に利得があった場合）・ピットスルーペナルティ+１周減算
　※警告旗（白／黒）が出る前に順位を戻した場合は、１周減算は免除
黄旗無視(減速）・ピットスルーペナルティ
オレンジボール無視（３回受けた場合）・１周減算、（４回以上）+１周減算、Wチェッカー・１周減算

3・公式練習及びタイムトライアル

公式練習の走行義務違反・T/T、１グリッド降格。重量違反の場合は、4-3を参照。
重量違反・失格、車両違反・失格、タイヤ規定違反・失格。スプリントレースは最後尾から出走可能。

4・スプリント

スタート：フライング・整列（ポジション違反、斜めに整列等）違反・ピットスルーペナルティ
ドライバー違反・失格。重量違反の場合は、4-4を参照。
重量違反・失格、車両違反・失格、タイヤ規定違反・失格。決勝は最後尾から出走可能。

5・レコノサンス

ピットクローズ時間違反・ピットスルーペナルティ（第1ドライバーでスタート15分以内に消化）
コース上作業違反・１周減算

6・決勝

プッシング（いかなる場合でも）、ピットイン時の徐行車両の追い越し・ピットスルーペナルティ
プッシング（順位の利得があった場合）・ピットスルーペナルティ+１周減算
　※順位を戻してピットインペナルティを受けた場合は、１周減算を免除
ブロッキング（後ろを見ての幅寄せ、コーナリング中の幅寄せ）・ピットスルーペナルティ
周回遅れ義務違反：より速い車両の走行を妨げないように安全かつ速やかに進路を譲る事・３周減算
無線装置、映像撮影装置の脱落、ウエイトの脱落・３周減算、ガス欠によりコース上に止まった場合・３周減算

7・ドライバー義務・交代

交代義務違反（決められたスティント内でドライバー交代がなかった場合）・1周減算
交代義務違反（一旦停止義務違反、前車がドライバー交代している場合）・１周減算
交代義務違反（走行回数義務違反）・１周減算
交代義務違反（最低走行時間義務違反）・１周減算
交代義務違反（累積最低最高走行時間義務違反、１名に付き）・１周減算

交代義務違反（入場制限義務違反）・１周減算
ピットロード速度違反、パイロンタッチ・ピットスルーペナルティ
※いつでも止まれる速度で走行。シケイン通過後の加速を禁止。ピット入り口からピット出口までの全域で制限。

8・給油作業

給油義務違反（指定時間を守らなかった場合）・４周減算
給油義務違反（消化しなかった場合）・7周減算
給油義務違反（給油以外の作業をおこなった場合）・ピットスルーペナルティ

9・赤旗

レッドフラッグ無視・5周減算

10・ニュートリゼーション

隊列義務・トップ車両による隊列整列義務違反・ピットスルーペナルティ
ピットクローズ義務違反・ピットスルーペナルティ
再スタート義務違反・ピットスルーペナルティ
翌周ピットイン義務違反・ピットスルーペナルティ

11・受付・車検

規定重量違反・失格、車両違反・失格、タイヤ規定違反・失格。必要書類提出義務違反・２周減算

第６章　シリーズ成績に関する事項

決勝獲得ポイントは、チェッカーを受けたものが対象となり、Rd.5は1.2倍とする。
１位-25、２位-18、３位-15、４位-12、５位-10、６位-8、７位-6、８位-4、９位-2、１０位-1、とする。
スプリントレース獲得ポイントは、周回数の1/2以上を周回した車両が対象となり、
１位-8、２位-7、３位-6、４位-5、５位-4、６位-3、７位-2、８位-1、とする。
シリーズポイントは、つま恋シリーズのみの合計とし、同点の場合は、上位入賞回数の多いチームを上位とする。
尚、スプリント出走ドライバーには**決勝同様の１０位までポイント**が与えられ、チームポイントとは別でスプリントシリーズとして、ドライバータイトルシリーズの表彰をするものとする。ポイントはゼッケンとセットで与えられるものとする。
赤旗などで決勝レースが途中で中止となったり、再開後レース時間短縮で終了した場合は、レース時間の3/4以上が経過していた場合は全ポイント、1/2以上3/4以下で、１９-１４-１２-１０-８-６-４-３-２-１。1/4以上1/2以下で１３-１０-８-６-５-４-３-２-１、4/3以下２周以上は、６-４-３-２-１とする。

第７章　抗議関する事項

運営及び、公式発表リザルト等への抗議は、抗議書の提出が必要となります。提出は抗議料22,000円を添えて、リザルト発表後30分以内とします。抗議が正当であると判断された場合、抗議料は返還されます。

第８章　損害補償関する事項

主催者及び大会役員の業務遂行によって起きたドライバー、ピット要員の死亡、負傷及び車両の損害に対して、
主催、後援、協力、協賛するものの及び大会役員は一切の保証、責任を追わないものとする。

第９章　広告に関する事項

参加車両の広告についてオーガナイザーは次のものに関して抹消する権限を有します。
ドライバーはこれを拒否することができません。

1.公序良俗に反するもの　2.政治・宗教に関連したもの　3.本大会に関係するスポンサーと競合するもの

第１０章　保険・共済会関する事項

FORMATION LAP PROJECT［（財）スポーツ安全協会］4/2～翌年4/1まで

1）レース日に有効な、FORMATION LAP PROJECT（FLP）のスポーツ安全保険にご加入下さい。
保険適用年度のつま恋カートコース練習走行、他FLP主催イベント全てに対応いたします。
年度会費は¥3,000です。f-lap.net 及び、つま恋カートコース受付にて前日までにお手続き下さい。

加入区分	対象範囲	損害保険金額				賠償責任保険支払い限度額		突然死葬祭費用保険支払い限度額
		死亡	後遺障害	入院(1日)	通院(1日)	対人対物賠償	内対人賠償	
中学生以下	団体活動中とその往復中	3000万円	4500万円	4000円	1500円	合算1事故5億円	1人1億円	180万円
64歳以下		2000万円	3000万円	4000円	1500円			
65歳以上		600万円	900万円	1800円	1000円			

2）レース中事故等で怪我などをした場合はすみやかに必ず医師の診断を受けて下さい。
事故受付は事務局までお願いいたします。診断がない場合保険が適用されない場合があります。

第１０章　その他の事項

1）この特別規則書に定める項目は、安全や公平性及び、大会目的と合致する場合、変更することがあります。
変更する場合は 大会当日までに発表いたしますが、大会当日ブリーフィングで伝える場合があります。

2）競技に関する最終判断は競技長に委ねることとします。

3）本大会において撮影された写真及び動画は、スポーツカートの普及と振興のためSNS等に
公開されることがあります。

4）４時間耐久の交代スティント数は
|-30-|-20-|-20-|-20-|-20-|-20-|-20-|-20-|-20-|-20-|-30-|　合計４時間
①　②　③　④　⑤　⑥　⑦　⑧　⑨　⑩　⑪
の１１スティント（ドライバー交代１１回）、ドライバースティントは１２回になります。

5）４時間耐久の最低給油回数は２回とする。

6）エンジョイカップレギュレーションは、SLカデットオープンに準拠し、小学１年生から参加を可能とする。
レース形式は、タイムトライアル、予選①、予選②、決勝とし,ポイントはFLR CUPスプリントと同様とし、
決勝ファーステストラップドライバーには、ポイント５を付帯する。